

## 日舞や歌謡を披露。田植えさのぼり祭

7月19日、田植えさのぼり祭が野尻町農村環境改善センターで行われました。日舞、歌謡、フラダンス、エイサーなど37の演目を披露。実行委員会の棚橋道夫実行委員長は「高齢者の皆さんの生きがい、交流の場になってくれれば」と話していました。



## 柔道のソウル五輪銅メダリストが指導

8月1日、2日に小林署少年柔道クラブの合宿が行われ、野尻町出身でソウル五輪銅メダリストの大迫明伸さんが訪れ指導しました。大迫さんは、寝技や抑え込みなどの技術を紹介し、「常に、どうすればうまくいくか考える習慣を身につけてほしい」と生徒らに伝えていました。



## 「道路愛護デー」に市民ら清掃作業

8月は「道路ふれあい月間」。毎年、県内各地で第1日曜日を「道路愛護デー」とし、清掃などの奉仕作業が行われています。8月2日、市内でも各地区の市民らが早朝から各地区の道路を清掃。1万2千人が参加し、草刈りやごみ拾いを行いました。



## 須木小・中学生が公民館で住民と交流

8月1日、須木小・中学校の児童・生徒が、夏休みの登校日に、地域の公民館で、住民らと交流する「須木ふるさとプロジェクト」が行われました。児童・生徒らは、それぞれの地区の住民と、スポーツや郷土芸能の練習、昼食づくりなどに取り組みました。



メインのチョウザメを使った料理を提供する生徒ら。レストランには、4日間で約500人が訪れました

## チョウザメを使ったフルコース 小林西高の三ツ星レストラン

小林西高の調理科が、7月24日、25日、8月7日、8日の4日間で「高校生の三ツ星レストラン」を行いました。チョウザメを使った料理など8品のコース料理を提供。同校の川野咲瑛さんは「お客様に、きれい！おいしい！と言われて、やってよかったなと感じました」と話していました。



ステージでは、須木地区の子どもたちによる踊りや「イチョウ太鼓」の演奏などが行われ、会場を盛り上げていました

## 山々に響き夜空を彩る すき納涼花火大会

8月8日、第38回小林市すき納涼花火大会が須木中学校で開催され、市内外から約1万5千人の人が訪れました。メインイベントは、山々に反響する迫力満点の打ち上げ花火。会場近くの川沿いから打ち上げられる約7千発の花火が頭上高くの夜空を彩ると、会場からは歓声と大きな拍手が起っていました。

## 熱い夏にひと時の涼を こばやし名水夏まつり開催

8月1日、こばやし名水夏まつりが小林駅前広場などで開催されました。的をめぐり漬物石を滑らせる「名水カーリング」や5人1組でバケツに汲んだ水をリレーでつなぐ「名水バケツリレー」など水にちなんだイベントを実施。参加者は暑い夏にひと時の涼を楽しみました。



名水カーリングを楽しむ参加者。同会場では、ストリートバスケの大会「KOBAYASHI COSMOS JAM」も行われていました

## 東京オリンピック目指す 全国の高校生ランナー集結

東京オリンピックを目指す高校生を育成するオリンピック育成競技者長距離合宿研修会が、8月4日から7日に行われました。女子は4回目、男子は初めての実施。日本陸連推薦選手35人を含む、全国の高校44校の選手や指導者ら260人が参加。市総合運動公園やひなもり台で練習をしました。



ひなもり台のクロスカントリーで練習する選手ら。合宿中には、青山学院大学駅伝部監督の原晋さんによる講演も行われました



管理職全員を対象に「教育の情報化」についての研修を実施。タブレットを使った授業のあり方などを学んでいました

## 魅力ある授業づくり目指して 教育フォーラムが開催

7月28日、教育フォーラムが小林小・中学校を会場に開催されました。今年は、県内外のスーパーティーチャーなど19人を講師に招き、「魅力ある授業づくり研修会」を実施。市内の小・中学校の教職員324人が参加し、よりよい教育を目指し、授業デザインなどについて学びました。



「かるかや竹灯籠のゆうべ」と題して、手づくりの竹灯籠が並んだかるかや。4月にスタートした昼食「かるかや御膳」も人気です

## 茅葺きと竹灯籠で夏を感じて かるかやで灯籠まつり初開催

すきむらんど茅葺きの宿「かるかや」に7月25日～8月31日、1000本の竹灯籠が飾られました。8月2日には「灯籠まつり」を初開催し、昼・夜の部で多彩なイベントを実施。昼の部には、灯籠作り、そば打ちなどの体験メニュー、夜の部には特設舞台で伝統芸能や演奏などが披露されました。